

別記様式8 〔第5項(6)〕

目 標 達 成 計 画

事業所名 せんだんの里グループホーム  
作成日 2023年 3月 31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所として必要とされている役割や、地域との交流、生活の継続等の意義、介護理念等についての理解、共有が職員全体まで行えていない部分がある。	職員全体でグループホームの役割、職員自身の役割や認知症ケア、理念への理解を図る取り組みを継続し、根拠を持って利用者の支援を行うことに繋げる。	理念に関する振り返り、理解を深める取り組み、部署内での会議等でグループホームの役割の再確認を行う。また、ケア自体の振り返りを実施する。継続にあたり様々な角度から取り組みを行えるよう働きかける側の知識や実践力の底上げを図る。	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
2	15	条件付きでの面会や外出の制限が続いている中で、利用者の生活の様子(食事内容等も含めて)やケアの意向のやり取り等がご家族に円滑に伝えられていない部分の更なる改善や、交流や関係性の継続への配慮がより必要と感じる。(ご家族アンケート結果からの課題)	・現状行っている対応の継続のみではなく、多様な手段を提案、実施することでご家族へ利用者の生活についての情報の発信、ご家族や利用者の交流や関係性の継続がより密に行えることで利用者、ご家族にとって安心できる環境を目指す。	条件付きでの面会のみではなく、交流を図ることや生活を知る機会をより多く持っていただけるような発信、継続できる機会の提案を行い、ご家族の安心にも繋げる。また、利用者の日常、活動や食事の内容など、実際に足を運ぶことで細部まで共有できていた情報について、以前と同様に共有できるよう、より良い方法を検討し実施する。	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
3	45・49	レクリエーション・余暇活動等の機会は増えているが、より入居者個々に向けた活動や、生活継続支援、環境整備の検討が必要と感じる。	・入居者の生活歴等の情報や現在の状態、課題を把握、共有することに加え、生活の向上(課題の解決等も)に向けて意向を汲み取りより1人1人にあった支援、活動の機会を提供する。	職員全体で利用者の情報を収集、共有できる仕組みの確認を行い、早期に改善に向けてチームでの実践や行動に移せるよう学びや経験を深める機会を設けていく。個々の意向に沿った、余暇活動などケアの提供も継続していく。	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。